

特定非営利活動法人地球緑化センター

# 令和3年度事業計画

# 令和 3 年度事業計画及び予算

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

## I. 基本方針

環境問題や農山村の過疎化などの社会の課題に対して、地球緑化センターとして様々なニーズに応えるボランティアプログラムの企画・運営・提供、情報発信を行っていきます。その一方で、継続的な事務局運営ができるよう財政基盤の整備と事業の見直しを進めていきます。

不透明な社会情勢が続き、これまで継続してきた事業の見直しが必要となる場面もありますが、当センターに求められている役割を再度認識したうえで、これからの時代に即した事業展開や事務局運営を目指していきます。

## II. 事業計画

### 1. 「緑のふるさと協力隊」事業

「緑のふるさと協力隊」は若者と農山漁村がともに地域活性化に取り組むプログラムです。

今年度で 28 年目を迎え、12 市町村に 15 名の隊員を派遣します。隊員の活動が充実したものになるよう、受入先と連携をとりながら、年間を通じたサポートに取り組めます。

#### (1) 第 28 期 (令和 3 年度) 派遣及び活動の実施

- ・市町村数と人数 12 市町村に 15 名 (男 2 名、女 13 名)
- ・実施期間 4 月 7 日～3 月 13 日
- ・事前研修 4 月 7 日～4 月 13 日 (山梨県立ゆずりはら青少年自然の里)
- ・中間研修 9 月 9 日～9 月 11 日 (国立オリンピック記念青少年総合センター)
- ・総括研修 3 月 10 日～3 月 13 日 (国立オリンピック記念青少年総合センター)
- ・職員現地訪問 6 月～7 月

#### (2) 受入先担当者会議の開催

- ・開催 6 月 9 日 (水)～10 日 (木) 1 泊 2 日 (国立オリンピック記念青少年総合センター)
- ・内容 受入市町村担当者同士の情報交換

#### (3) 短期体験プログラム「若葉のふるさと協力隊」の実施

- ①目的 農山村で暮らしてみたい、体験してみたいという農山村と関わるきっかけを求めている人、「緑のふるさと協力隊」に興味を持っている若者たちを対象に、農山村での暮らしを体験できる機会を提供する。また「緑のふるさと協力隊」への参加を促す。
- ②時期 7 月～11 月 4 泊 5 日
- ③場所 「緑のふるさと協力隊」派遣先及び受入可能な OBOG の所在地。
- ④内容 農林漁業、草刈りや環境整備など集落が必要としている作業、祭りや伝統行事の手伝い

#### (4) 「緑のふるさと協力隊」関係団体との連携

- ① 緑のふるさと協力隊 OBOG との協力連携 (隊員募集、経験談の発信、短期プログラムの協力)
- ② その他、自治体や大学、専門学校など

## (5) 第29期(令和4年度)募集計画

- ①受入自治体募集
- ②協力隊員募集
  - ・説明会の実施
  - ・ポスター、チラシの配布
  - ・インターネット等を活用した広報活動の展開
- ③日程
  - ・受入先募集の締切りは11月末
  - ・隊員募集の締切りは12月下旬
  - ・隊員の面接選考は東京で令和4年1月に実施

## 2. 体験・交流事業

### (1) 企業における社会貢献活動、CSR、社内研修および交流活動の支援協力

- ①メタウォーター(奥多摩町)、沖電気工業(伊豆市)、電機連合(陸前高田市)、LIXIL住宅研究所(上野原市)、日本エア・リキード(石川県白山市)
- ②新規企業および受入自治体の開拓、プログラム構築
  - 「緑のふるさと協力隊」受入自治体を中心に、受け皿となるフィールドを新たに開拓しながら、企業と受入側をコーディネートできる仕組みを構築
- ③企業プログラム拡大に向けた広報活動
  - 企業と自治体をつなぎ関係人口の創出に寄与できるよう、HPなどを通じて積極的に広報活動を展開

### (2) 森林ボランティア「山と緑の協力隊」の開催および支援協力事業

- ①森林ボランティア開催
  - 既存のプログラムに加えて新規の活動場所でも新しくプログラムを展開し、会員をはじめより多くの人が森林ボランティアに参加できるようにする。
  - ・赤沢(長野県) 5月、10月 計2回
  - ・三宅島(東京都) 7月、10月 計2回
  - ・湘南(神奈川県) 6月、9月、11月 計3回
  - ・高取山(滋賀県) 11月 計1回
  - ・高田松原(岩手県) 9月 計1回
- ②「森林・竹林・里山を整備する仲間の会②」との連携・支援

### (3) 中国・緑化交流事業

- ①緑の親善大使活動 後記、特別会計事業「令和2年度日中植林・植樹国際連帯事業」の助成を得て、河北省豊寧県、内モンゴル自治区での緑化活動を推進
- ②企業参加プログラム 日本触媒(内モンゴル自治区・エジンホロ旗)

### (4) 「緑の学校」活動プログラム

- ①緑の作品や教材を活かし、地域や学校へ出前授業の開催、訪問学習の受入
- ②語り部活動の支援
  - 児童を対象とした環境教育への取り組みを拡充させ、「語り部」のメンバーを増やしていくため

に、SNS などを活用しメンバー募集の情報を広く発信し、より多くの方が活動に関われる体制を目指す。

③作品の貸し出し

#### (5) 学校等との連携プログラム

①日本大学サークル森友（国内緑化活動）

②湘南ビーチサイドウォーク及び湘南国際マラソンへの協力

### 3. 広報・PR 事業

#### (1) 機関誌の発行

①機関誌「タマリスク」の発行

・年2回発行、B5・8ページ/カラー1,000部

②情報誌「緑の通信」の発行

・年3回発行、A3・両面/カラー300部 会員向け

#### (2) 各種展示会及びイベント参加

中央区エコまつり（6月）など

#### (3) ホームページ、facebook 等インターネットによる広報活動

・ホームページに加え facebook、note 等に適宜活動報告を掲載

・Twitter、LINE、instagram などの SNS を積極的に活用し、様々な情報を発信

## III. 組織・運営基盤の計画

#### (1) 財政基盤の整備

新規会員の加入促進、事業収入の増額等、財源確保に努力し、堅実な財政運営を実現して行きます。とくに法人会員・寄付金増に力を入れながら認定 NPO の取得も目指し財政の充実に努め、既に利用している syncable を更に活用し「キャンペーン寄付」などを積極的に展開します。

従来の郵便振替口座、銀行振込以外の会費納入の方法について検討し、利便性の向上を図ります。

#### (2) 共同活動の推進

・国、自治体及び関係機関・団体との共催事業や協力事業を積極的に推進します。

・各地の会員、事業参加者と連携し、展示会やセミナーなど協力活動を推進します。

#### (3) 緑のふるさと協力隊サポーター制度の創設

・対象 緑のふるさと協力隊 OBOG 第1期～第27期 約800名

・サポーター費 3,000円（年度毎の更新）

・隊員活動報告書「一年のあゆみ」の送付 ・ふるさと通信のメール送付（希望者のみ）

特定非営利活動法人地球緑化センター 令和3年度 活動予算書(案)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
個人会員受取会費	1,420,000	
賛助会員受取会費	80,000	
法人会員受取会費	1,150,000	2,650,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	1,100,000	1,100,000
3 受取助成金等		
受取助成金	1,900,000	1,900,000
4 事業収益		
(1)緑のふるさと協力隊事業	22,710,000	
(2)体験・交流事業	2,039,000	24,749,000
5 雑収入		
雑収入	9,900	
受取利息	100	10,000
経常収益計		30,409,000
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当	6,710,000	
法定福利費	1,037,540	
通勤費	360,880	
人件費計	8,108,420	
(2)その他経費		
隊員生活費	8,266,800	
会議費	153,000	
消耗品費	220,000	
印刷製本費	1,137,000	
通信運搬費	780,000	
地代家賃	1,710,720	
旅費交通費	1,724,000	
諸謝金	245,000	
保険料	349,400	
研修費	1,980,000	
資材費	1,100,000	
中国事務所運営費	600,000	
リース料	544,320	
広告宣伝費	535,200	
雑費	145,000	
その他経費計	19,490,440	
事業費計		27,598,860
2 管理費		
(1)人件費		
役員報酬	0	
給料手当	1,296,000	
退職給付費用	0	
法定福利費	130,000	
通勤費	149,040	
人件費計	1,575,040	
(2)その他経費		
会議費	3,000	
消耗品費	100,000	
印刷製本費	50,000	
通信運搬費	100,000	
地代家賃	665,280	
旅費交通費	3,000	
リース料	136,080	
新聞図書費	5,272	
雑費	172,468	
その他経費計	1,235,100	
管理費計		2,810,140
経常費用計		30,409,000
当期経常増減額		0
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		0
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		0
前期繰越正味財産額		13,161,303
次期繰越正味財産額		13,161,303

令和3年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人地球緑化センター

1. 重要な会計方針  
計算書類の作成は、 NPO法人会計基準 によっています。

(1) 消費税等の会計処理  
消費税等は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	緑のふるさと 協力隊事業	体験・交流事業	広報PR事業	事業部門計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>						
1. 受取会費	650,000		0	650,000	2,000,000	2,650,000
2. 受取寄附金		900,000	0	900,000	200,000	1,100,000
3. 受取助成金等		1,900,000	0	1,900,000	0	1,900,000
4. 事業収益	22,710,000	2,039,000	0	24,749,000	0	24,749,000
5. 雑収入	0	0	0	0	10,000	10,000
経常収益計	23,360,000	4,839,000	0	28,199,000	2,210,000	30,409,000
<b>II 経常費用</b>						
(1) 人件費						
役員報酬	0	0	0	0	0	0
給料手当	3,990,000	2,600,000	120,000	6,710,000	1,296,000	8,006,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	0
法定福利費	643,160	394,380	0	1,037,540	130,000	1,167,540
通勤費	200,880	150,000	10,000	360,880	149,040	509,920
人件費計	4,834,040	3,144,380	130,000	8,108,420	1,575,040	9,683,460
(2) その他経費						
隊員生活費	8,266,800	0	0	8,266,800	0	8,266,800
会議費	150,000	3,000	0	153,000	3,000	156,000
消耗品費	140,000	70,000	10,000	220,000	100,000	320,000
印刷製本費	600,000	30,000	507,000	1,137,000	50,000	1,187,000
通信運搬費	600,000	80,000	100,000	780,000	100,000	880,000
地代家賃	902,880	522,720	285,120	1,710,720	665,280	2,376,000
旅費交通費	1,194,000	520,000	10,000	1,724,000	3,000	1,727,000
諸謝金	105,000	140,000	0	245,000	0	245,000
保険料	299,400	50,000	0	349,400	0	349,400
研修費	1,300,000	680,000	0	1,980,000	0	1,980,000
資材費	0	1,100,000	0	1,100,000	0	1,100,000
中国事務所運営費	0	600,000	0	600,000	0	600,000
リース料	272,160	204,120	68,040	544,320	136,080	680,400
新聞図書費	0	0	0	0	5,272	5,272
広告宣伝費	500,000	0	35,200	535,200	0	535,200
雑費	90,000	50,000	5,000	145,000	172,468	317,468
その他経費計	14,420,240	4,049,840	1,020,360	19,490,440	1,235,100	20,725,540
経常費用計	19,254,280	7,194,220	1,150,360	27,598,860	2,810,140	30,409,000
当期経常増減額	4,105,720	-2,355,220	-1,150,360	600,140	-600,140	0

## 令和3年度 特別会計事業 「令和2年度 日中植林・植樹国際連帯事業」

外務省が推進する「日中植林・植樹国際連帯事業」(\*下記)の一環として、(公財)日中友好会館が実施する、中華人民共和国(以下「中国」という。)並びに主に東南アジアを中心とする日本及び中国以外の国・地域(以下「第三国」という。)における地球環境問題の解決に向けた植林事業及びこれに付帯する事業に対する助成事業です。

\*「日中植林・植樹国際連帯事業」とは 日本へ飛来し得る黄砂等の中国の環境問題への対処、青少年等の交流を通じた環境意識の啓発 と対日理解の一層の促進、砂漠化防止等への貢献を図ることで、中国との関係改善の流れを一層力強いものにするとともに、国際社会の課題に対処することを通じて「戦略的互惠関係」の強化 につなげていくことを目的としています。

### 1. 収 入

(円)		
	内 訳	金 額
(1) 河北省豊寧満族自治県砂漠化防止事業		
「日中植林・植樹国際連帯事業」助成金	植林費用、保育、事務経費、技術者派遣、ボランティア等派遣	11,936,000
(2) 内モンゴル自治区砂漠化防止事業		
「日中植林・植樹国際連帯事業」助成金	植林費用、保育、事務経費、技術者派遣、ボランティア等派遣	10,706,000
合 計		22,642,000

### 2. 支出

(円)		
	内 訳	金 額
(1) 河北省豊寧満族自治県砂漠化防止事業		
資材費	植林(油松15,730本、面積13ha)	10,146,000
事務経費	消耗品費、印刷費、通信運搬費	160,000
研修費	技術者派遣(謝金、派遣経費、コロナ経費)、ボランティア派遣費	1,630,000
小 計		11,936,000
(2) 内モンゴル自治区砂漠化防止事業		
資材費	植林(障子松12,100本、面積10ha)	8,756,000
事務経費	消耗品費、印刷費、通信運搬費	160,000
研修費	技術者派遣(謝金、派遣経費、コロナ経費)、ボランティア派遣費	1,790,000
小 計		10,706,000
合 計		22,642,000

